

事業所名

はらっぱ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

10 月

1 目

法人（事業所）理念		美味しいご飯を食べられる。安心して眠れる。喜びを共感できる。生きがいがある。人から必要とされる。人から大切にされる。こころから笑顔になれる。自分らしく生きる。特別な事ではなく、誰にとっても当たり前になるように、寄り添う支援をもって社会福祉事業を行います。										
支援方針		放課後は子ども達にとって楽しく遊び成長する場です。何よりも楽しいと思える経験を大切に、それぞれの子ども達に合った発達支援を行います。										
営業時間		9	時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり なし	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	生活におけるマネジメントスキルの育成・・・自分で何をするかアイデアを出しながら、自分の生活をマネジメントすることができるよう、こどもの意向を受け止めながら、自分で組み立てて出来る行動を増やして行けるよう支援をする										
	運動・感覚	保有する感覚の活用・・・保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。										
	認知・行動	行動障害への予防及び対応・・・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う										
	言語 コミュニケーション	状況に応じたコミュニケーション・・・コミュニケーションを円滑に行うためには、伝えようとする側と受け止める側との人間関係や、その時の状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援する。										
	人間関係 社会性	他者との関り（人間関係）の形成・・・他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動が出来る様に支援する。 仲間づくりと集団への参加・・・集団に参加するための手順やルールを理解し、子どもの希望に応じて遊びや集団活動に参加出来るよう支援するとともに、ともに活動をするを通じ、相互理解や他害の存在を認め合いながら、仲間づくりに繋がるよう支援する										
家族支援		家族からの相談に対する適切な助言等							移行支援		放課後児童クラブ等と並行利用している場合における併行利用先との連携・・・併行利用の場合の利用日数や利用時間などの調整	
地域支援・地域連携		通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援・・・子どもに支援を行う発達障がい者支援センター、障がい児相談支援事業所、他の障がい児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携							職員の質の向上		teacchプログラム鹿児島支部研修 社会福祉士都城北諸県ブロック研修 宮崎県発達障がい者支援者研修 都城市療育研究会 都城市放課後等デイサービス連絡協議会 感覚統合基礎編 虐待防止研修 強度行動障害支援者養成研修	
主な行事等		少人数グループワーク（SST、調理、買い物など） 公園や図書館へのお出かけ 施設見学（消防署、歴史資料館、リサイクルプラザ、宮崎市科学館） 法人主催地域食堂や他団体主催の地域食堂への参加 避難訓練										